

宗谷森林管理署 メークマ海岸防災林の施業に関するあり方を検討

稚内市・メークマ海岸防災林は、明治時代の山火事や過度な伐採により生じた未立木地が、厳しい環境により笹生地となっていた地区に昭和45年より強風から農地及び生活環境守るために海岸防災林を整備してきた。

海からの強風、寒冷、積雪と最も厳しい環境に耐えて育つように、アカエゾマツ等を防風柵等で囲って列状に密植し海岸林の造成を図ってきました。しかし、植栽後40年以上を経過したことで、林冠が混み合い、下層植生も繁茂していない状況となっていることから、より健全な海岸防災林を造成していくため、今後の施業を検討し方針を決定した。

地域の現状



1989年頃になると防風柵等の効果により整備が進んでいる。



1947年ころは、海岸林の荒廃が進んでいた状況である。



2014年には、強風の影響が少ないところは樹高の伸びが良くなっている。



2007年になると海岸林の整備が進み森林がかなり回復してきている。



林内は、うっ閉した状況で下層植生の生育が厳しい状況となっている。

平成26年度 取り組み

- 将来に向けて健全な海岸防災林を引き継いでいくために平成26年度に有識者を含めた検討会を立ち上げ
- 林分の生育状況等を調査し、検討会において、今後の施業に関しては、ブロックごとに収量比数、形状比、樹冠長率等を総合的に判断・検証しながら計画的に本数調整伐を実施していくことで決定。
- 宗谷流域林業活性化協議会での現地検討会を実施

有識者を含めた検討会 (現地検討及び意見交換会)



宗谷流域林業活性化協議会 での現地検討会



今後の 取り組み

平成27年度以降、本数調整伐を実施し施業の検証(PDCA)を行う。また、北海道内に民国含めて同様の海岸林が造成されており、本検討がアカエゾマツ等の海岸防災林の施業指針となることを目指す。